



QCサークル

企業・組織のQCサークル活動（小集団改善活動）の成果は、管理者・支援者のサポートによって左右されます。当コースでは、企業におけるQCサークル活動の必要性・有効性を認識し、今の厳しい企業環境のもとで、**管理者・支援者として、どのように指導・支援すれば、経営に貢献する強いQCサークルを育成できるかが習得できます。**

特徴

- QCサークル活動を指導・支援するための考え方、QC手法などのスキルが身につきます。
- グループ討論（WS：ワークスタディ）では、自職場のQCサークル活動の実態について現状診断を行い、これをもとに管理者としての指導・育成のしかたについて討論します。
- 他社の活動事例に触れるとともに、テーマ解決活動の実践的指導方法と講評のしかた、評価法が学べます。
- WS、情報交換会などで異業種交流ができる「参画型プログラム」です。

対象

QCサークルなどの小集団改善活動の導入・推進を行う企業の部課長（候補者を含む）、新任管理者

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル
名古屋・愛知県産業労働センター ウィンクあいち
大阪・日科技連 大阪事務所

講師

深澤行雄（元 サンデン(株) 他、実践経験豊富な講師が指導にあたります

参加費

48,330円（一般）／ 40,770円（会員）

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日 9:30～18:30	今なぜQCサークル活動か QCサークル活動の本質 QCサークル活動の進め方	WS1：QCサークル活動の現状診断、問題の把握 情報交換会
第2日 9:15～17:00	テーマ解決活動と管理者の役割 データの見方とQC手法	WS2：体験事例の研究（審査・講評の体得） 総合質疑、個別相談会（17:00～17:30希望者）

回数	日程	会場
1	6月6日(火)～7日(水)	大阪
2	6月12日(月)～13日(火)	東京
3	10月24日(火)～25日(水)	名古屋

QCサークル推進者コース

QCサークル活動を推進するためのノウハウのすべてがあります！

(QCC推)

TQM・大阪

「QCサークル指導士資格認定」対象コース *当資格認定の詳細は p.129 をご参照ください

QCサークル活動（小集団改善活動）の活性化、経営への貢献などに関するお悩みを解消し、優れたQCサークルの指導者を育成します。当コースは、QCサークルをはじめとする小集団改善活動の指導にあたる推進者が、いろいろな現実の場での指導方法を体得できるように構成しています。

特徴

- 講義や他社推進者との交流を通じて、自社のQCサークルの計画的・効果的な推進の方法が学べます。
- QCサークルが行う問題解決、課題達成活動に対する具体的なアドバイスや指導のしかたが身につきます。
- グループディスカッション、情報交換会など、異業種交流ができる「参画型プログラム」です。
- 「QCサークル指導士資格認定制度」の対象コースとなっており、セミナー終了後に「QCサークル指導士」認定試験を受験できます（2000年4月以降の推進者コース修了者は認定試験のみ受験ができます）。

対象

QCサークルなどの小集団改善活動の推進を行う企業の課長・係長・班長・主任および推進スタッフ、推進事務局
全社、事業所、課のQCサークル推進担当者

会場

東京・日科技連 東高円寺ビル、名古屋・愛知県産業労働センター ウィンクあいち、大阪・日科技連 大阪事務所
福岡・福岡商工会議所

講師

中條武志（中央大学）他、実践経験豊富な講師が指導にあたります

参加費

【QCC指導士認定試験含む】
143,100円（一般）／ 126,900円（会員）
【QCC指導士認定試験含まず】
121,500円（一般）／ 105,300円（会員）

カリキュラム～6日間コース（前期・後期各3日間）

	午前	午後
前期	第1日 9:30～18:00	品質管理とQCサークル
	第2日 9:30～17:00	職場運営に役立つQCサークル活動、QCサークル活動の活性化法
	第3日 9:30～16:45	QC手法とその活用
後期	第4日 9:30～17:00	問題解決・課題達成の方法
	第5日 9:30～17:00	QCサークル活動の全社的推進
	第6日 9:30～12:30	演習：QCサークルの指導方法 総合質疑

回数	日程	会場
1	前期 6月6日(火)～8日(木)	東京
	後期 7月5日(水)～7日(金)	
2	前期 6月14日(水)～16日(金)	名古屋
	後期 7月12日(水)～14日(金)	
3	前期 7月19日(水)～21日(金)	福岡
	後期 8月23日(水)～25日(金)	
4	前期 9月5日(火)～7日(木)	東京
	後期 10月10日(火)～12日(木)	
5	前期 9月20日(水)～22日(金)	大阪
	後期 10月11日(水)～13日(金)	
6	前期 1月24日(水)～26日(金)	東京
	後期 2月26日(月)～28日(水)	

リーダーとして真の実力をつけ、活動をけん引していくために！

職場第一線のQCサークルをはじめとする小集団改善活動のリーダーに求められる総合力として「指導・指揮力(リーダーシップ)」「運営力」「問題解決力」を養成します。これら3要素の一つひとつに重点をおいた講義とグループディスカッション(GD)を行い、着実にその向上をはかります。また、当コースではリーダーとして考え、行動できる力を身につけていただくことをコンセプトとしてカリキュラムを構成しています。

特 徴

- QCサークルリーダーにとって必須の品質管理・QCサークルについての正しい知識、リーダーシップ、QC的ものの見方・考え方が身につきます。
- 講義・GDを通じて、QCサークルの計画的・効率的な運営のしかたが学べます。
- 事例を通じて問題解決、課題達成の考え方・進め方やQC手法の活用のしかたを習得し、問題・課題解決力が着実に向上できます。
- 他社との交流の中で、視野が広がり、他社のやり方がベンチマークできます。

カリキュラム～3日間コース

	午前	午後
第1日 9:30～17:30	QCサークル活動におけるリーダーシップの向上 理解度確認テスト	GD 1: リーダーシップの基本的な知識・スキルの習得
第2日 9:30～18:00	問題解決力の向上とQC手法 問題解決・課題達成に使われるQC手法 理解度確認テスト	GD 2: 『QCサークル』誌管理・改善事例に学ぶ
第3日 9:30～16:30	QCサークル活動運営力の向上 理解度確認テスト	GD 3: QCサークル活動活性化のための運営の工夫 テーマ別グループ討論

対 象

QCサークルなどの小集団改善活動のリーダー、メンバー、将来のリーダー候補者

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル
名古屋・愛知県産業労働センター ウィンクあいち
大阪・日科技連 大阪事務所
福岡・福岡商工会議所

講 師

阿部 保(日科技連・嘱託、元(株)デンソー)他、実践経験豊富な講師が指導にあたります

参 加 費

63,990円(一般) / 54,270円(会員)

回数	日程	会場	回数	日程	会場
1	5月17日(水)～19日(金)	大阪	7	9月27日(水)～29日(金)	大阪
2	5月23日(火)～25日(木)	東京	8	10月4日(水)～6日(金)	名古屋
3	6月21日(水)～23日(金)	名古屋	9	10月25日(水)～27日(金)	東京
4	7月12日(水)～14日(金)	東京	10	12月11日(月)～13日(水)	東京
5	7月26日(水)～28日(金)	福岡	11	1月24日(水)～26日(金)	大阪
6	9月20日(水)～22日(金)	東京	12	2月7日(水)～9日(金)	東京

若葉マークのための QC サークル体験教室

企業・組織に必要なQCサークルをまず知ろう！そしてやってみよう！

QCサークル活動(小集団改善活動)をこれから始める方、もしくは始めて間もない方、新入社員の方にQCサークル活動の第一歩を正しくマスターしていただくコースです。初めての方でも、QCサークルの基礎知識や進め方が身につく、職場で行われるQCサークル活動にスムーズに参画できるようになります。

特 徴

- 「QCサークルの基本」をクイズ形式で楽しく理解することができます。
- 演習を通して、「やさしいQC手法」を体験できます。
- 当コースオリジナル「問題解決ゲーム」や「ケーススタディ」により、問題解決の基本的な考え方・進め方を体験できます。
- 2日間のカリキュラムをグループ単位で取り組み、参加者同士での情報交換、交流をはかることができます。
- 新入社員へのQCサークル基礎教育としても最適です。

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日 9:20～18:00	演習：クイズで学ぶ「QCサークルの基本」 QC的ものの見方・考え方	やさしいQC手法(層別、グラフ、チェックシート、パレート図、特性要因図、系統図、マトリックス図) 演習：パレート図、特性要因図、系統図・マトリックス図
第2日 9:30～17:00	問題解決の基本的な手順 演習：問題解決ゲーム(アッセンブリーゲーム)、 QCサークル導入ステップ事例に学ぶ、 Q & A	

対 象

QCサークルなどの小集団改善活動をこれから始める方、もしくは始めて間もない方(年齢不問)、新入社員

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

岡田高美(日科技連・嘱託、元セイコーエプソン(株))他、実践経験豊富な講師が指導にあたります

参 加 費

50,490円(一般) / 42,930円(会員)
*昼食代含む

回数	日程
1	6月29日(木)～30日(金)
2	9月4日(月)～5日(火)
3	12月7日(木)～8日(金)

「なぜ」を効果的に繰り返して真因をつかむノウハウを身につけよう！

今日、産業界では品質トラブルや品質不具合、業務トラブルに対し、迅速かつ確かな原因追究が求められています。「なぜなぜ分析」は、問題を引き起こしている事象に対して「なぜ」を繰り返しながら、論理的に漏れなく要因を洗いだし、再発防止を実現する確かな対策を導き出す方法です。

当セミナーでは、品質不具合や業務トラブルに対する徹底した原因追究により、再発防止策を導き出す有効なツールである「なぜなぜ分析」の第一人者を講師に、正しい進め方を習得できます。

特 徴

- 問題(事象)に対する的確な「なぜなぜ分析」の展開方法を習得し、論理的に「なぜなぜ分析」を正しく展開する方法とそのノウハウを具体的に学べます。
- 「なぜなぜ分析」実践力に不可欠な感性を養い、気づき、思考力、直感力、洞察力、解析力などを身につけることができます。
- 演習を通じてよりの確かな再発防止策を導き出す改善力を養い、実践的な「なぜなぜ分析」トレーニングを実施し、職場実践につなげることができます。

回数	日程	会場	回数	日程	会場
1	5月18日(木)~19日(金)	名古屋	6	10月17日(火)~18日(水)	東京
2	5月29日(月)~30日(火)	東京	7	11月21日(火)~22日(水)	名古屋
3	7月4日(火)~5日(水)		8	12月6日(水)~7日(木)	東京
4	7月13日(木)~14日(金)	大阪	9	2月19日(月)~20日(火)	
5	8月22日(火)~23日(水)	東京	10	2月22日(木)~23日(金)	

対 象

業種を問わず、職場第一線の管理者、スタッフ、監督者、作業リーダー・メンバー、品質保証、品質管理部門の管理者、スタッフ、QCサークルなどの小集団改善活動のリーダー、リーダー候補者

会 場

東京・日科技連
名古屋・愛知県産業労働センター ウィンクあいち
大阪・日科技連 大阪事務所

講 師

小倉仁志 (有)マネジメント・ダイナミクス

参 加 費

【テキスト代含む】
72,360円(一般) / 64,800円(会員)
*昼食代含む
【テキスト代含まず】
70,200円(一般) / 62,640円(会員)

テキスト

『なぜなぜ分析10則 真の論理力を鍛える』
(日科技連出版社発行)

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後
第1日 9:30~16:30	1. 原因追究の盲点 原因追究には、論理力が必要！ 2. なぜなぜ分析の狙い 3. 「なぜなぜ分析」に入る前に確認すべき5つのポイント	4. 論理的に、漏れなく、狙いどおりに「なぜ」を繰り返すための定石「なぜなぜ分析10則」 －クイズ形式で楽しく学ぶ－ 5. グループで「なぜなぜ分析」を実際にやってみよう －グループ演習 事例①－
第2日 9:30~16:30	6. 昨日の振り返り 7. 昨日の分析を発表して、さらにレベルアップすべきポイントを確認しよう 8. 自分のテーマで「なぜなぜ分析」を実際にやってみよう －個人演習－	9. グループで「なぜなぜ分析」を実際にやってみよう －グループ演習 事例②－ 10. 分析発表を通じて、「なぜなぜ分析」の定石を最終確認しよう 11. まとめと質疑応答

現場力を高める「見える化」と「ムダ取り」の実践セミナー

現場・職場を見える化し、利益を創出する企業体質を構築！

「見える化」によって生産活動の問題や異常を浮き彫りにし、仕事の結果に対して価値を生まない「行動(動作)、もの、仕組み、ルール」のムダを徹底的に排除して、利益を創出する企業体質を構築するためのノウハウを習得する実践セミナーです。

特 徴

- 改善活動を皆で協力して進めるために、生産活動で必要とするすべての状態・指標の「見える化」について理解し習得していただきます。
- 「見える化」と「ムダ取り」の具体事例を、自職場においても即実践できるように解説します。
- 自ら問題を発見、解決(改善)する能力の向上をはかります。
- 活性化した競争力ある職場づくりのポイントが習得できます。

対 象

業種を問わず、職場第一線の管理・監督者、スタッフ、リーダー、リーダー候補者

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

瀧沢幸男(元 日野自動車株)

参 加 費

30,240円(一般) / 24,840円(会員)

カリキュラム～1日コース 9:30~17:00

午前	午後	回数	日程
・職場の競争力向上と現場力向上について ・「見える化」について ・「ムダ取り」について	・職場の管理と改善について ・一人ひとりの「品」の質向上と「個」有技術が基礎 演習：グループワークの出来栄え向上とムダ排除で時間短縮をはかる	1	9月19日(火)
		2	3月6日(火)

実際の現場管理のノウハウと実践力向上

モノづくりの現場を今一度見つめ直し、本当に必要な“基本的なこと”“使えるノウハウ”を事例とIEを使った演習を中心に体得していただきます。単に知識や手法を教えるセミナーではありません。長年現場に携わってきた講師が現場管理のノウハウをわかりやすく伝授します。あなたの現場をモノづくり、世界一流職場への変革を目指す第一歩としませんか。

特 徴

- 原価管理の考え方が習得できます。
- 3Sを効率よく進める方法が習得できます。
- 実践—現場革新IEの進め方が習得できます。
- いろいろなスタイルの小集団改善活動が学べます。

対 象

業種を問わず、職場第一線で活躍されている管理者、監督者

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

横山成紀(エキスパートクラスター)
香川博昭(香川改善オフィス)

参 加 費

47,250円(一般) / 39,690円(会員)

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後	回数	日程
第1日 9:30～17:30	品質・安全管理の重要性と原価のはなし モノづくりの背景 近年の安全・品質問題 原価(コスト)の考え方 改善活動の軌跡 優良企業トップの声 “現場力”は競争力の源泉	監督者の役割 職場の6大任務 監督者業務に入る前の基本的な考え方 監督者の業務 行動災害について 安全の三要素と行動災害 職場の異常を発見するシステム 基準書の整備と遵守 2S+1S(しつけ)の管理 ヒューマンエラー・いつもとは違う製品、設備等の異常 ハテナ?メモ、事例分析の活用による人材育成 強さ、弱さを知り、弱さを強さに変革・演習 進化した小集団 業績直結型小集団活動 SALAD(サラダ)方式の事例の紹介 問題解決の進め方	1	7月10日(月)～11日(火)
第2日 9:30～17:00	実践—現場革新IEの着眼と進め方 基本的な考え方/流れ作りの必要性/改善の着眼と進め方(演習)	～IEから生産革新へ～		

創造性開発のための脳力スパイラルアップセミナー

豊かな創造性を目覚めさせ、個の可能性を高める

職場の問題を解決するには、事実を把握するQC的なアプローチと柔軟な思考力いわゆる「創造性」が必要となり、誰もがもっている「創造性」をいかに効率よく迅速に開発するかが“鍵”となります。当セミナーでは、職場のクリエイター(創造人間)として、実際の場で応用・実践できる力を身につけることができます。

特 徴

- 講義に沿ったグループ演習を数多く取り入れた参画型プログラムです。
- グループ演習を通じ、今までの思考プロセスを打ち破り、必要なときに必要なアイデアをスピーディに生み出すパターンを習得することができます。
- 全カリキュラムをグループ単位で取り組み、他社の方との情報交換・異業種交流をはかることができます。

対 象

業種を問わず、職場第一線で活躍されているQCサークルなどの小集団改善活動のリーダー、メンバーおよび推進者、推進事務局
創造性を高め、業務や改善活動に反映させたい方

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

実践経験豊富な講師が指導にあたります

参 加 費

52,920円(一般) / 45,360円(会員)

カリキュラム～2日間コース

	午前	午後	回数	日程
第1日 9:30～17:30	アイスブレイク：創造力の自己診断、自己紹介 情報の迷路 漢字ゲーム演習 誰もが持っている創造性	使い道演習 個人と集団の差、ブレインストーミング法など ブレインストーミング法演習 創造性開発と右脳の活用、脳力アップの心構え	1	6月27日(火)～28日(水)
第2日 9:15～16:45	固定観念打破、創造するヒント、発想するコツ 創造人間になろう! ビジュアルコネクション法演習	アイデアの評価 使い道演習 総合質疑		

人づくり、チームづくり、現場力(職場力)向上のためのコミュニケーションツール

「コーチング」はコミュニケーションを豊かにし、人の無限の能力を引き出し人を育てるツールとして、リーダー、管理者のマネジメントを円滑にする必須ツールであるといえます。当コースでは単なるコミュニケーションスキルの講義にとどまらず、エクササイズ(体験学習)を通じて、「QCサークルの運営」「人づくり」「組織づくり」に活用できることを目指した実践的なカリキュラムとなっています。

特 徴

- コーチングの基本スキルを学ぶことができます。
- コミュニケーションと人づくりの重要性を認識し、真のマネジメントの基礎を身につけることができます。
- 自ら参画し、コミュニケーションを通じて受講生全員で創り上げる体験学習を中心にした参画型プログラムです。

対 象

QCサークルなど小集団活動の活性化をはかりたい管理者・スタッフ・リーダー、コミュニケーションを豊かにし自分自身のステージを高めたい方、リーダーシップを発揮したい方

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

国分正義(つくば品質総合研究所)

参 加 費

30,240円(一般) / 24,840円(会員)

カリキュラム～1日コース 9:20～17:00

午前	午後
「人を育てるコーチング」 「時代の変化が求めるもの」 エクササイズ①：コミュニケーションの豊かさで自己発見 「コミュニケーションとは」 エクササイズ②：アルバート・メラビアンの方則と私の意思伝達 「コーチングとは」 エクササイズ③：部下に対する基本スタンス、ティーチングとコーチングヘルプとサポート	「コーチングの実践と大切な3つのスキル」 エクササイズ④：傾聴のスキル、承認のスキル、質問のスキル講義 「GROWモデル*と自分発見」 エクササイズ⑤：営業販売部門モデル、事務・スタッフモデル、QCサークルモデル 「コーチングと自己形成」

回数	日程
1	6月27日(火)
2	2月13日(火)

※GROWモデル：

Goal, Reality, Resource, Option, Willの頭文字
 Goal：目標の明確化、細分化、具体化
 Reality：現実把握＝本当の問題は何か
 Resource：経営資源の認識と確認
 Option：選択肢の創造
 Will：目標達成への意思の確認→計画の策定

問題解決・QC手法指導のインストラクター養成講座

実力あるリーダー育成のための指導ポイント学ぶ

QCサークルのメンバー・リーダーが陥り易い、間違った「問題解決の進め方」「QC手法のつくり方・使い方」「なぜなぜ分析の活用」について、事例から指導ポイント(押えどころ)や指導内容を学ぶとともに、指導技法(資料のつくり方・使い方など)を習得できます。

講義・演習を通じて、QCサークルのインストラクターの役割(知識、スキル、指導、情熱、魅力、自信などの伝授)を認識し、実力あるリーダー育成の指導ポイントを学ぶことができます。

特 徴

- 小集団改善活動の指導者育成に最適です。
- QCサークル指導士としてのスキルアップがはかれます。
- QCだけではなく、一般的な教え方のノウハウを実例から学ぶことができます。

対 象

QCサークル指導士、教育担当者、管理・監督者、推進者、事務局、人事担当者

会 場

東京・日科技連 東高円寺ビル

講 師

瀧沢幸男(元 日野自動車株)

参 加 費

34,560円(一般) / 29,160円(会員)

カリキュラム～1日コース 9:30～18:00

午前	午後
「問題解決の進め方」の指導ポイント 「QC手法のつくり方、使い方」の指導ポイント	「なぜなぜ分析の活用」の指導ポイント 「教え方」のポイント 「指導内容・指導方法」のポイント 「グループ演習」研修会の企画と模擬講義の実施

回数	日程
1	6月26日(月)
2	10月17日(火)

人の心理的側面への働きかけの仕方を身につけ、組織力を飛躍的に向上!

メンバー間の年齢や立場の違い、経験の差などが影響して心のベクトルがそろわなくなることがあります。すると活動にダメージが生じ、モチベーションが低下してしまいます。当セミナーでは、臨床心理学の現場で活用されている「解決志向」という考え方にもとづく「人の心理的側面」を考慮した仕掛け方を身につけ、メンバー間で思いが通じ合い、目標とともに歩める体制づくりを学べます。心が通い合う良い組織風土をつくる「心の好循環サイクル」をまわし、QCサークル活動(小集団改善活動)をはじめとする様々なグループ・チーム活動の無形効果であるチームワーク力を高めることで、有形効果を最大限に引き出せるようになります。

特徴

- 北政を中心に世界23カ国に広まるチームビルディング技法 Reteaming (リチーミング) の指導資格をもつ講師が、様々な企業現場での経験を活かし、受講者が職場ですぐに実践できるよう指導します。
- 講義に体験学習を盛り込んだカリキュラムで、人と人の心のベクトルの合わせ方、チームづくりの基礎力を習得できます。
- 異なる組織や部門、階層の方とのチームづくりができ、QCサークル活動(小集団改善活動)に限らずあらゆるチーム活動・グループ活動に適用できます。

回数	日程
1	前期 11月6日(月)
	後期 12月8日(金)

対象 様々なチーム・グループ活動でメンバーの能力を引き出してチームをまとめた方、組織風土を変えたいスタッフ・リーダー・推進者

会場 東京・日科技連 本部

講師 川西由美子(ランスタッド(株) EAP 総研)

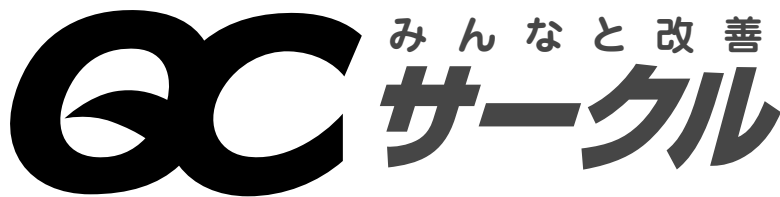
参加費 【テキスト代含む】
50,760円(一般) / 43,200円(会員)
【テキスト代含まず】
48,870円(一般) / 41,310円(会員)

QCサークル

カリキュラム～2日間コース(1日×2ヵ月)

	午前	午後
前期 9:20～16:50	チーム内の風土を改善し、チームメンバーの心理的側面を考慮するために必要なポイントを理解する / 無形効果を高めるための心の好循環サイクルを理解する	ヒューマンリスクとコミュニケーションリスクについて学ぶ / 課題への声かけに必要な思考整理と行動変換を学ぶ(ワーク) / 心のベクトルを合わせる準備(不満・不安要素の扱い方)について学ぶ(ワーク) / まとめて質疑応答 / 1ヵ月間実施課題について
後期 9:20～17:00	実施課題の振り返り /モチベーションを高める声かけ技法について学ぶ	考え方の溝・違いを調整し、同じ目標を作り上げるプロセスを学ぶ(ワーク) / 課題を目標に変える解決志向を学ぶ / 役割再構築の方法を学ぶ(ワーク) / 思っていることと行動することのギャップと対処方法を学ぶ / 問題を指摘する時の効果的技法を学ぶ / 心の好循環サイクルワークでの気づきを発表 / 自社での活かし方をディスカッション / まとめて質疑応答

QCサークル活動(小集団改善活動)の情報誌



楽しく読めて やさしく学べて 職場の改善活動に役立つ情報が盛りだくさん

本誌は、QCサークル活動(小集団改善活動)の情報誌として、企業トップのQCサークルに対する想いや考え方、様々な企業・組織(業種)での改善活動の取り組みや事例を多数紹介。基本的・応用的なQC手法の勉強法をはじめ、QCサークル活動に関するトピックス・ヒントなど、リーダー・推進者の悩みに応える情報が満載です。あなたも『QCサークル』誌をぜひご愛読ください。

特集

2016年12月号: QCストーリーの種類と使い分け

2017年 1月号: 『QCサークル』誌を活用してQC検定を目指そう!

2月号: 先人の知恵

ホームページもご覧ください ▶ http://www.juse.or.jp/qc_circle/

『QCサークル』誌の概要や読者のみなさん参加型記事の募集、バックナンバー総目次、「今月の見どころ・読みどころ」や「Web立ち読みコーナー」もあります。



定価(本体486円+税)
年間購読 5,100円
(本体4,722円+税、国内送料サービス)
—購読料がお得な年間購読がおすすめです—